

## 平成18年度 決算報告書

国立大学法人福岡教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,102	4,102	0	
施設整備費補助金	573	575	2	(注1)
補助金等収入	15	15	0	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	29	0	
自己収入	1,933	1,934	1	
授業料、入学料及び検定料収入	1,904	1,901	3	(注2)
財産処分収入	0	1	1	(注3)
雑収入	29	32	3	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	60	71	11	(注5)
承継剰余金	0	0	0	
目的積立金取崩	15	9	6	(注6)
計	6,727	6,735	8	
支出			0	
業務費	4,607	4,153	454	
教育研究経費	4,607	4,153	454	(注7)
一般管理費	1,443	1,485	42	(注8)
施設整備費	602	604	2	(注9)
補助金等	15	15	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	60	67	7	(注10)
計	6,727	6,324	403	
収入 - 支出	0	411	411	

## 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成18年度補正予算により、災害復旧費が措置されたため、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、受験者の減少による検定料収入減少のため、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注3) 財産処分収入については、車両運搬具の売り払いにより、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、風水害に対する保険料収入があったため予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託事業収入及び寄附金収入の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、当初予定していた事業を翌年度に繰り越したため、予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、主に教員人件費の退職金繰越のため、また、教育研究経費に当初予算計上していた学長裁量経費及び年度計画経費等を自然科学教棟改修による移転関係費及び建物新営設備費に充当等を行ったため、予算金額に比して決算金額が454百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、教育研究経費を一般管理経費に充当したため、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が2百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託事業費の増加により、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっています。